

野球

平成27年度春季近畿地区高等学校野球滋賀県大会

準々決勝

彦根東 9—8 八幡



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号

接戦を制しベスト4

4年連続夏のシード権獲得

4月29日、湖東スタジアムで平成27年度春季近畿地区高等学校野球滋賀県大会準々決勝が行われ、本校が八幡高校を9対8で下し、4年連続夏の大会のシード権を獲得した。



▶3回表、走者2、3塁でタイムリー2塁打を放つ百田君

一回表、高内優君(3—5)が死球と盗塁により2塁に進み、鯨江里輝君(2—8)が四球で出塁。その後、篠原蓮君(3—4)のヒットにより満塁となったところ、相手のミスで高内君が生還し、1点を先制した。

2回表、百田康紀君(3—4)の四球、鯨江彰治君(3—8)の内野安打、森杉亮太君(3—3)のピッチャー強襲の内野安打により2点目を得た。

3回表、鯨江里君のセンター前ヒット、続く篠原君のセンター前ヒット、中澤君のパンクにより走者2・3塁となり、百田君がレフトオーバーの2塁打を放ち2点を追加。続く鯨江彰君がライト線を破る3

塁打を放ち、さらに1点を追加、相手の暴投で1点を得た。
4回表、森杉君が四球と盗塁で2塁へ、送りパンクで3塁に進み、高内君のファーストゴロにより帰還、1点を得点した。

5回表、篠原君がライト線への2塁打、中澤篤史君(3—6)のパンクにより3塁へ進んだところで、百田君のセカンドゴロにより1点を追加した。また、鯨江彰君が死球盗塁で2塁へ進んだ後、続く佐々木大樹君(3—5)の2塁打により9点目を挙げた。

その後、5回裏と6回裏でも計5点を奪われ、8回裏にも1点を奪われたが、佐々木君の粘り強い投球で1点差の接戦を制した。

3回にタイムリーを放った百田君は「前の打者が良い形を作ってくれたので、絶対に打つという気持ちでバットを振った」と振り返った。監督の村中隆之先生は「序盤は力をだすことができたが、終盤は守備の調子が悪かったので相手に勢いがいってしまった。最後に好守備があり、踏みとどまって勝つことができたのがよかった」と話された。

キャプテンの篠原君は今回の試合を振り返って「自分た

ちの試合をする事を目標にしていたがエラーが多く出てしまった。北大津戦では許しても思わないと思うので気持ちの面から改善していきたい」と話した。

先発、完投した佐々木君は、「これまで試合ではエラーから失点する流れだったので、なんとか抑えたい」と話した。

次は北大津戦に向けて「次こそは、という気持ちで自分のピッチングが出来るように頑張りたい」と気を引き締めた。

準決勝は北大津高校と、5月2日(土)12時30分から彦根球場で行われる予定である。

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
彦根東	1	1	4	1	2	0	0	0	0	9
八幡	2	0	0	0	2	3	0	1	0	8